

「ウラノス・エコシステムの実現のためのデータ連携システム構築・実証事業」に係る 実施予定先一覧

採択テーマ名	形態	実施予定先
ウラノス・エコシステムに資するデータスペース基盤整備・普及促進事業	委託	一般社団法人自動車・蓄電池トレーサビリティ推進センター (再委託先)株式会社日立製作所 株式会社NTTデータグループ
蓄電池トレーサビリティ分野のカーボンフットプリント情報の流通促進のための高度化事業	助成	一般社団法人自動車・蓄電池トレーサビリティ推進センター
化学物質情報の流通に係るシステム開発事業／化学物質情報のトレーサビリティ管理システムの開発	助成	株式会社NTTデータ
化学物質情報の流通に係るシステム開発事業／化学物質情報のトレーサビリティ管理システムのアプリケーションの開発・実証（１）	助成	株式会社dotD
化学物質情報の流通に係るシステム開発事業／化学物質情報のトレーサビリティ管理システムのアプリケーションの開発・実証（２）	助成	Sotas株式会社
化学物質情報の流通に係るシステム開発事業／化学物質情報のトレーサビリティ管理システムのアプリケーションの開発・実証（３）	助成	日本電気株式会社
化学物質情報の流通に係るシステム開発事業／化学物質情報のトレーサビリティ管理システムのアプリケーションの開発・実証（４）	助成	富士通株式会社
化学物質情報の流通に係るシステム開発事業／資源循環の静脈系における化学物質情報等のトレーサビリティ管理のあり方に関する調査・研究	委託	株式会社野村総合研究所
データスペースの構築及び普及・拡大に係る調査及びプロジェクトマネジメントオフィス業務	委託	デロイト トーマツ コンサルティング合同会社

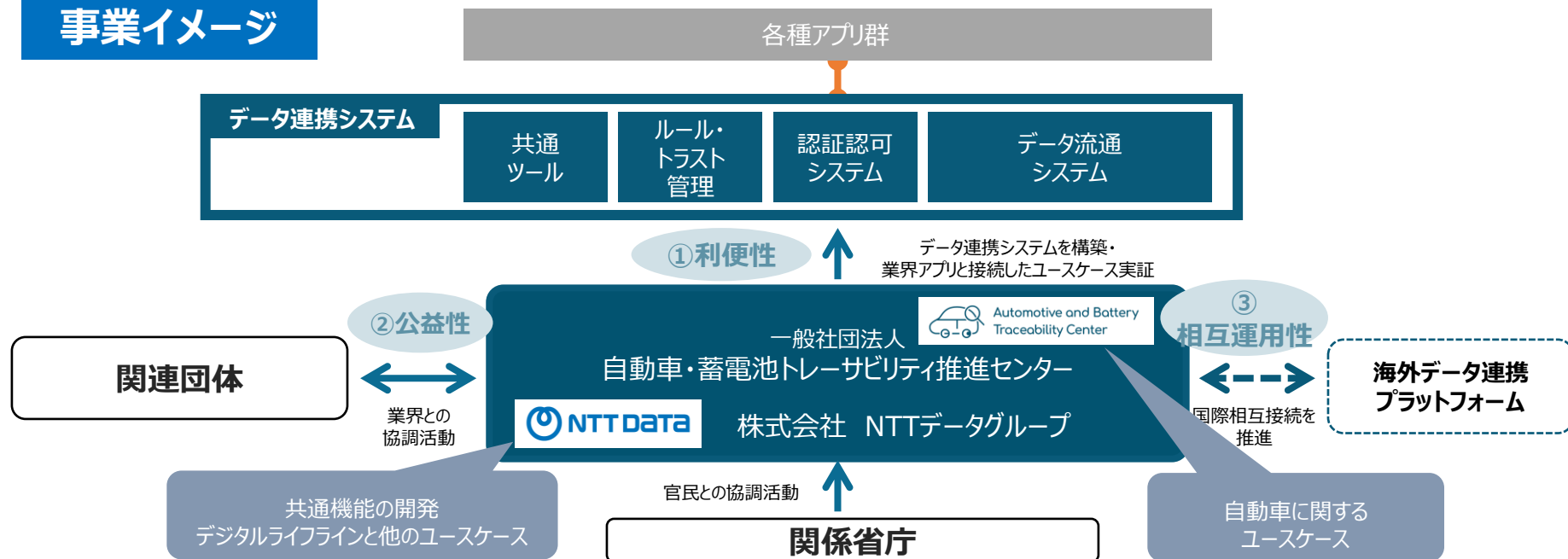
ウラノス・エコシステムに資するデータスペース基盤整備・普及促進事業

一般社団法人自動車・蓄電池トレーサビリティ推進センター
株式会社NTTデータグループ

事業概要

- ・ウラノス・エコシステムがデータ連携の中心的役割を担い、多様なステークホルダーとビジネスプロセスの連携を促して協調領域と競争領域の双方から産業が活性化する仕組みが必要である。
- ・システム構築においては、さまざまな産業分野がそれぞれのデータ連携システムを構築・拡張できるように、構築・拡張・運用が容易な仕組みを設計・開発する。
- ・実証においては産業が実ニーズを持つ複数のユースケースを対象に、各種業界団体・事業者と連携して業界ニーズに即したデータ連携システムを構築・評価する。
- ・本事業を通じて開発する技術仕様・ソフトウェアは原則公開して関係者から広く意見を受け付けるとともに、普及・促進のための取り組みを実施してデータ連携システムの継続的な発展に貢献する。

事業イメージ



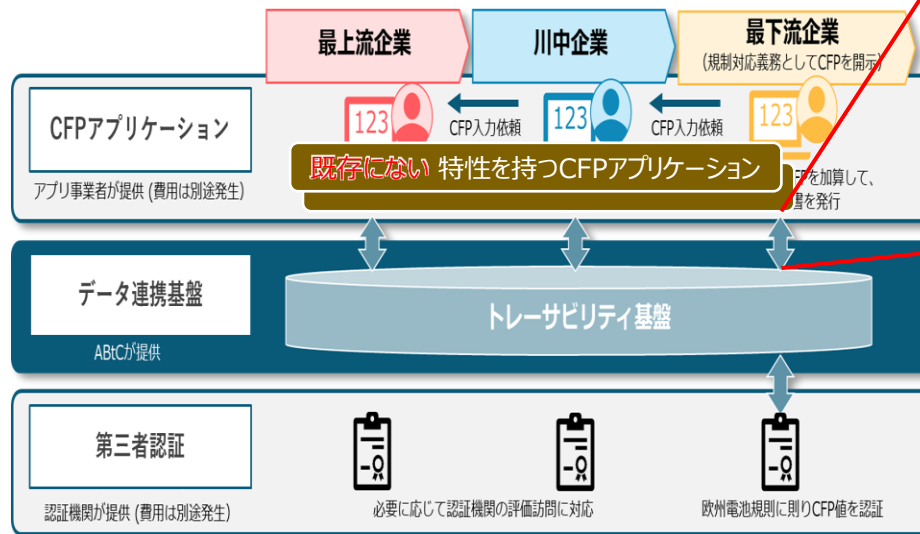
蓄電池トレーサビリティ分野のカーボンフットプリント情報の流通促進のための高度化事業

一般社団法人自動車・蓄電池トレーサビリティ推進センター

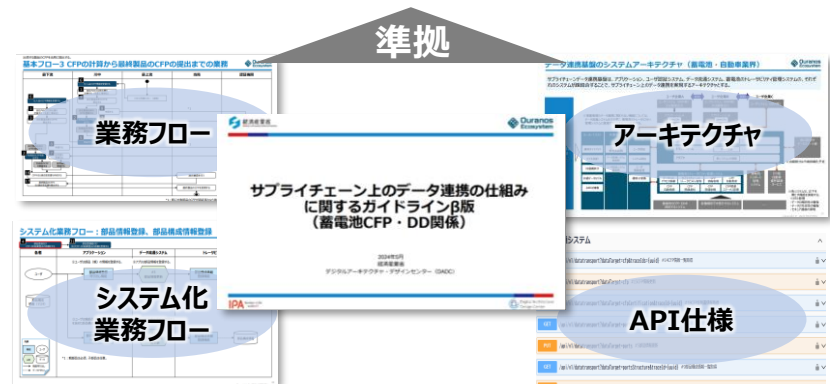
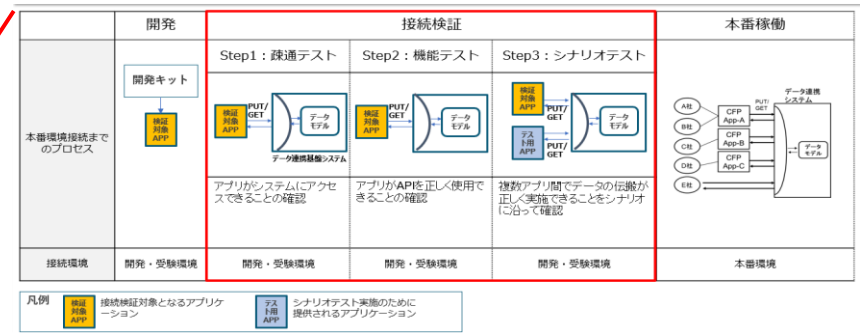
事業概要

- ・トレーサビリティの確保やカーボンフットプリント（CFP）値の集計および人権・環境デュー・デiligence結果収集を適切に実施できるように国内外のステークホルダーとシステムやアプリケーションなどの間の接続実証を実施する。
- ・実証では、既存にない特性（地域、産業、機能など）を持つCFPアプリケーションと一般社団法人自動車・蓄電池トレーサビリティ推進センター（ABtC）が提供するデータ連携基盤間での接続検証を実施し、独立行政法人情報処理促進機構デジタルアーキテクチャ・デザインセンター（DADC）が発行するガイドライン^{*1}に従って、CFPアプリケーションが基盤上で安全かつ安定して接続できることを確認する。

事業イメージ



CFPアプリケーションがDADC発行ガイドラインに準拠して安全に安定して接続可能なことを実証により確認



(^{*1})DADC発行のガイドライン:サブライチェーン上のデータ連携の仕組みに関するガイドライン（蓄電池CFP・DD関係）

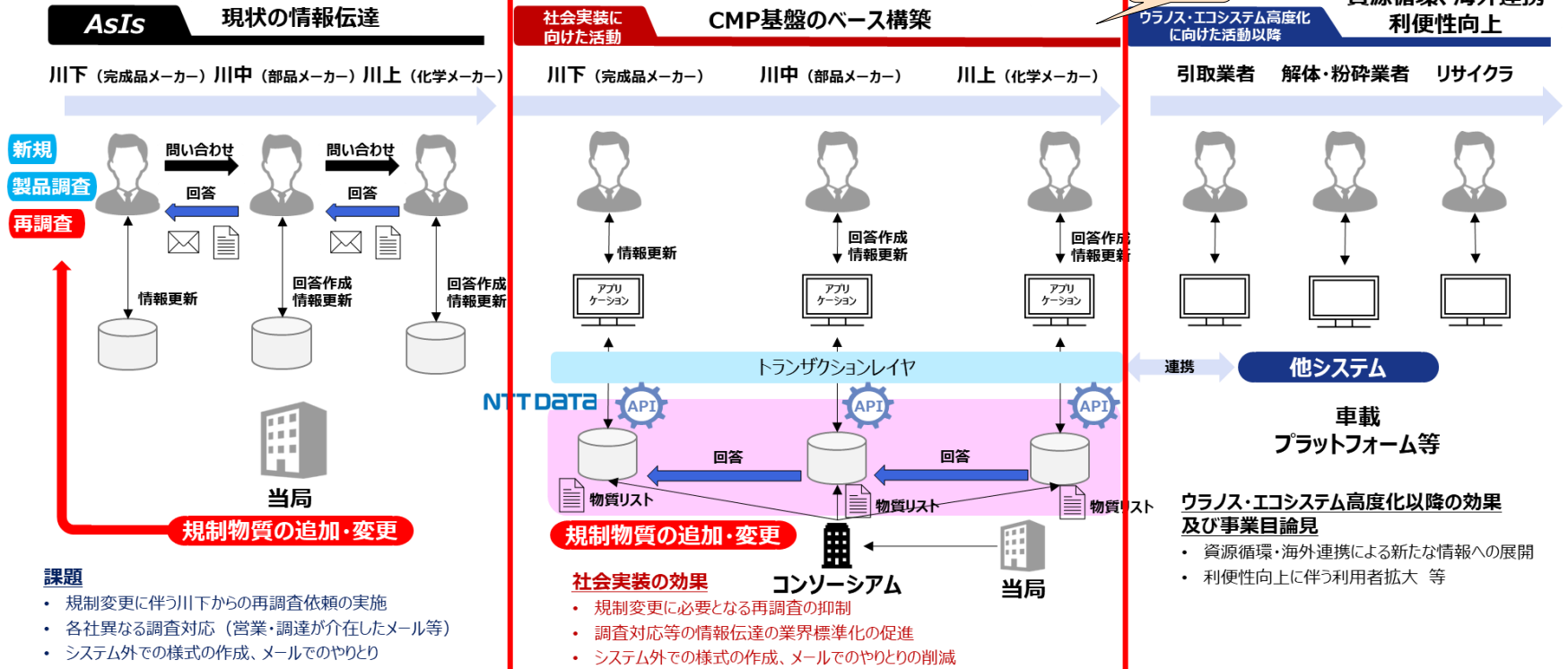
化学物質情報の流通に係るシステム開発事業／ 化学物質情報のトレーサビリティ管理システムの開発

株式会社NTTデータ

事業概要

- ・ サークュラーエコノミー情報流通プラットフォーム実現の先鋒として、産業界からのニーズ・注目度の高い製品含有化学物質情報と併せて部品リユース情報、リサイクル材情報までも伝達可能とする「製品含有化学物質情報・資源循環プラットフォーム（CMP）構想」の実現に向け、サプライチェーンにおける川上から川下までの動脈系企業などが利用するCMPを社会実装する。
- ・ CMP構想具体化のうち、動脈系企業などの製品含有化学物質の伝達を行うCMPの開発／アプリケーション実証を行う。アプリケーション実証の結果や普及活動を通じてウラノス・エコシステムの高度化に資する提案および開発を行う。

事業イメージ



化学物質情報の流通に係るシステム開発事業／

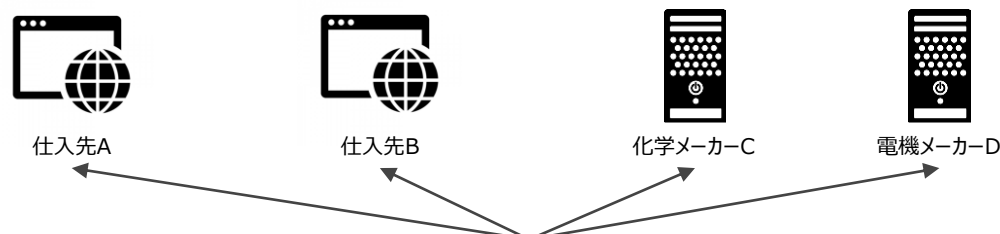
化学物質情報のトレーサビリティ管理システムのアプリケーションの開発・実証（１）

株式会社dotD

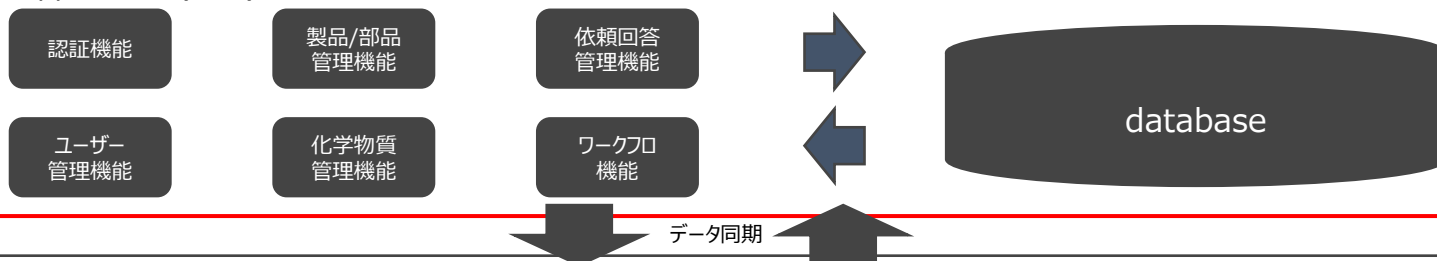
事業概要

- ・本研究開発では、CMPに接続し、ユーザー企業が利用するためのアプリケーションを開発・実証する。
- ・ウラノス・エコシステムの取り組みに基づいた蓄電池のCFP情報算定・伝搬アプリの開発実績を活かして、化学物質情報管理における効率的なアプリケーション開発・実証を行う。
- ・アプリケーションはSaaSで提供され、ブラウザを介したアクセスや基幹システムとのAPI接続などの柔軟なアクセスに対応する。
- ・ユーザーの操作はCMP基盤と同期され、同基盤を利用する他社アプリケーションとの接続を保証する。

事業イメージ



dotD CMP Application (仮称)



CMP基盤

化学物質情報の流通に係るシステム開発事業／

化学物質情報のトレーサビリティ管理システムのアプリケーションの開発・実証（２）

Sotas株式会社

事業概要

- CMP向けの、主に化学品を取り扱う事業者の利用を想定したアプリケーションの開発を進める。
- 既にSotasが提供している化学物質管理SaaSである「Sotas化学調査」に「CMP連携機能」を追加し、Sotas化学調査の既存ユーザーからのフィードバックを得る。加えて、新規ユーザーとして、Sotasと関わりのある一部のCMP参加予定企業においても、開発中からトライアル利用を実施する。
- 主にサプライチェーンの川上側の企業に対するCMPの普及に貢献することにより、ウラノス・エコシステムの実現に寄与する。

事業イメージ



化学物質情報の流通に係るシステム開発事業／

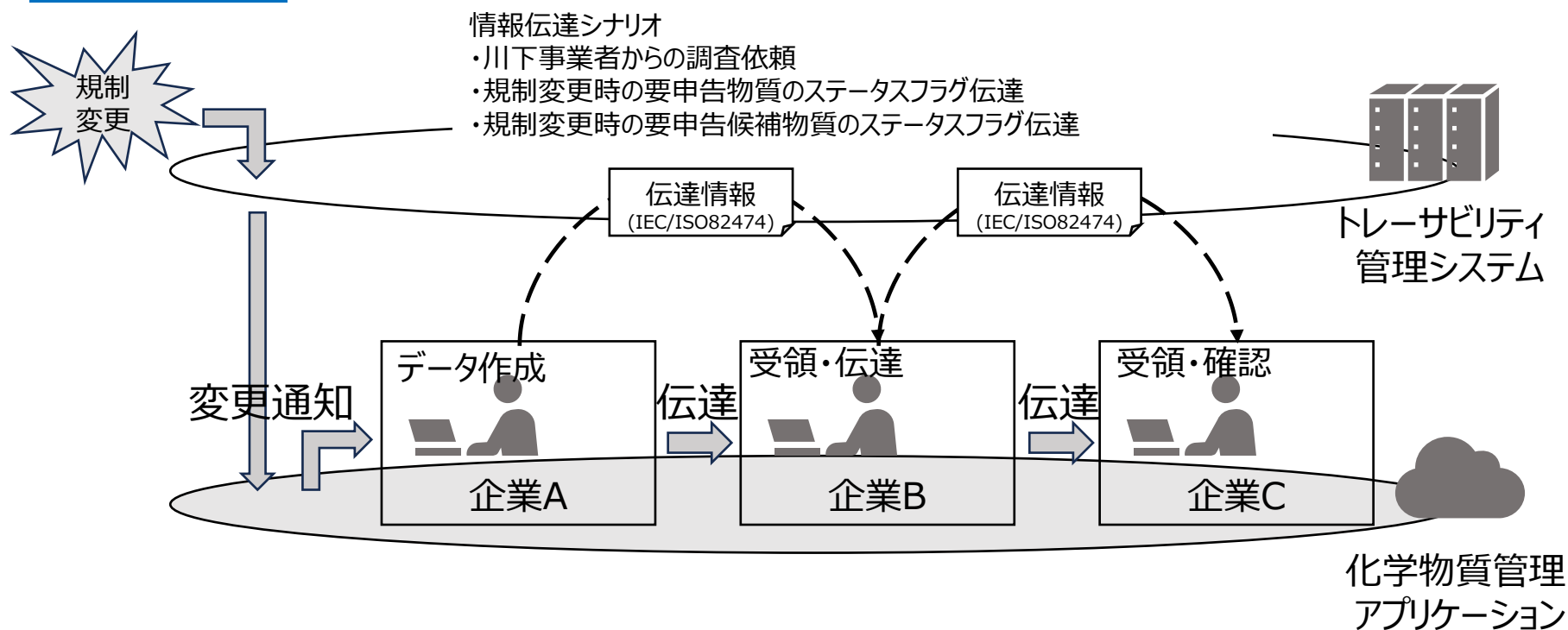
化学物質情報のトレーサビリティ管理システムのアプリケーションの開発・実証（３）

日本電気株式会社

事業概要

- ・企業や業界などを越えたデータ連携の実現に向けて、CMPとデータ連携するアプリケーションを開発し、両システムを接続して実証する。
- ・実証の内容は、現状の化学物質管理業務の課題である「個社ごとの回答内容・フォーマットの違い」「開示範囲の制御・情報精度の低下」「法規変更に対応した情報伝達」について、標準データモデルに基づく業務シナリオで実施し、課題対応に必要な技術確立がされているかを確認する。

事業イメージ



化学物質情報の流通に係るシステム開発事業／

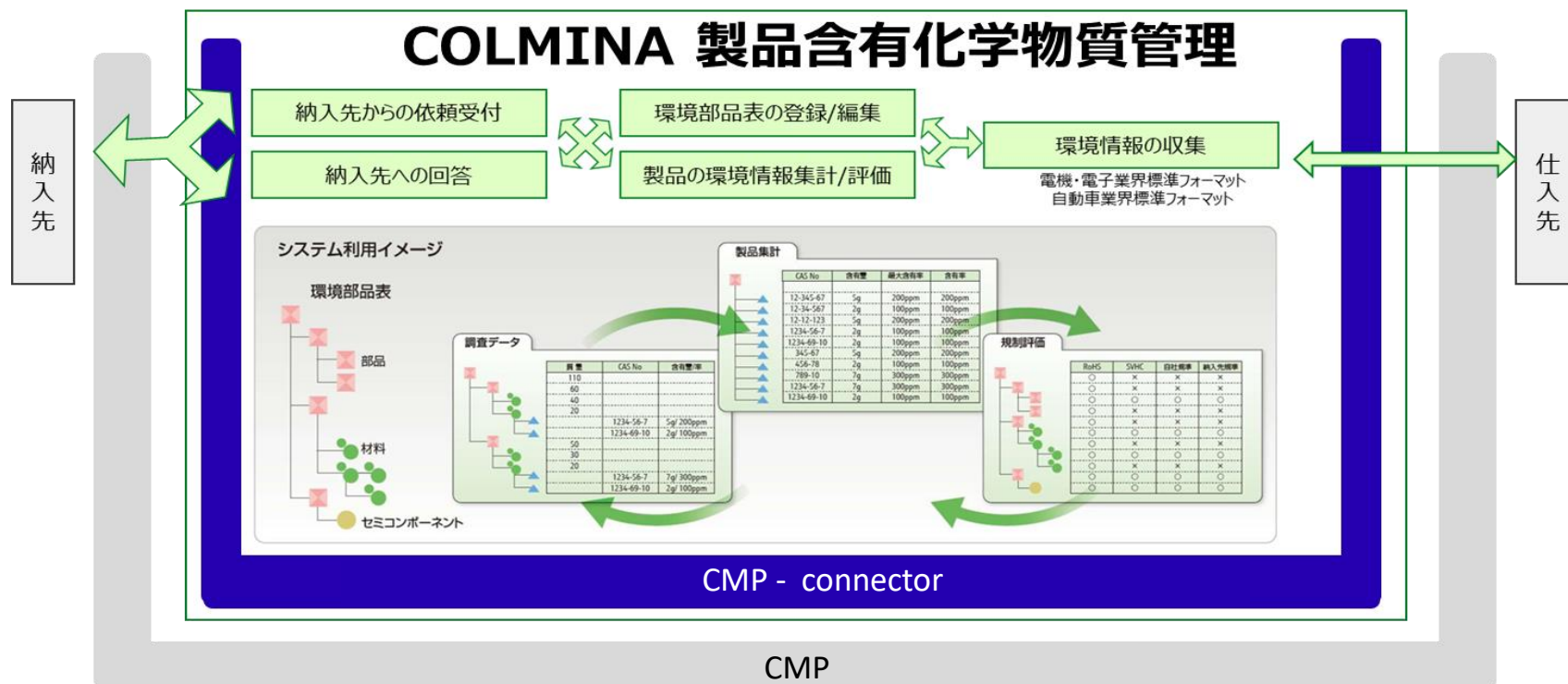
化学物質情報のトレーサビリティ管理システムのアプリケーションの開発・実証（４）

富士通株式会社

事業概要

- ・化学品メーカー、材料メーカー、商社、部品材料メーカー、部品メーカー、セットメーカーといった、最終製品の製造に関わるサプライチェーン上の企業（動脈系企業）が、実際のビジネス現場において製品含有化学物質情報を円滑に伝達できるかを確認する。
- ・法規制対応などの効率化が実現できているかを検証するため、自社が有するアプリケーションとCMPとの接続実証およびアプリケーションによるユーザー企業との接続実証を実施する。

事業イメージ



化学物質情報の流通に係るシステム開発事業／

資源循環の静脈系における化学物質情報等のトレーサビリティ管理のあり方に関する調査・研究

株式会社野村総合研究所

事業概要

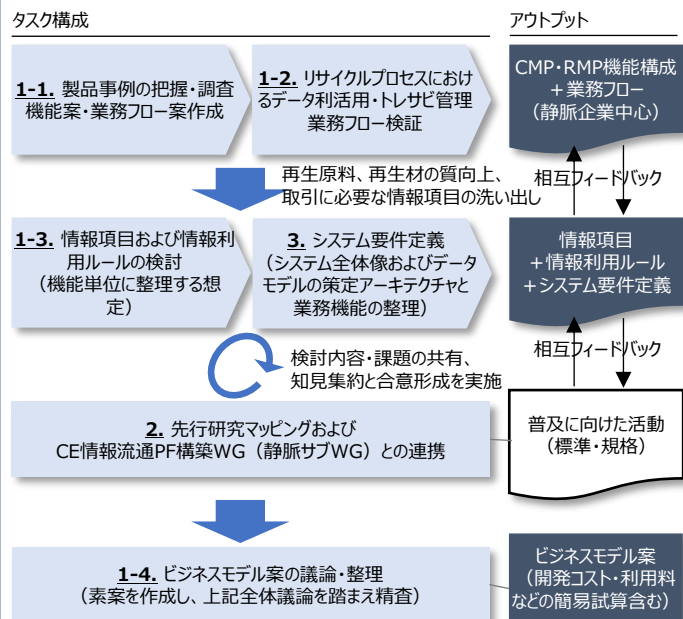
サーキュラーエコノミーの実現に向けて、以下2点に関するユースケースを通じて、データ連携システム・機能の要件定義を行う。

- ・資源循環の動脈産業がCMPを通じて提供するデータを静脈産業で活用する仕組み
- ・静脈から動脈へ供給する再生原料・再生材のトレーサビリティの担保

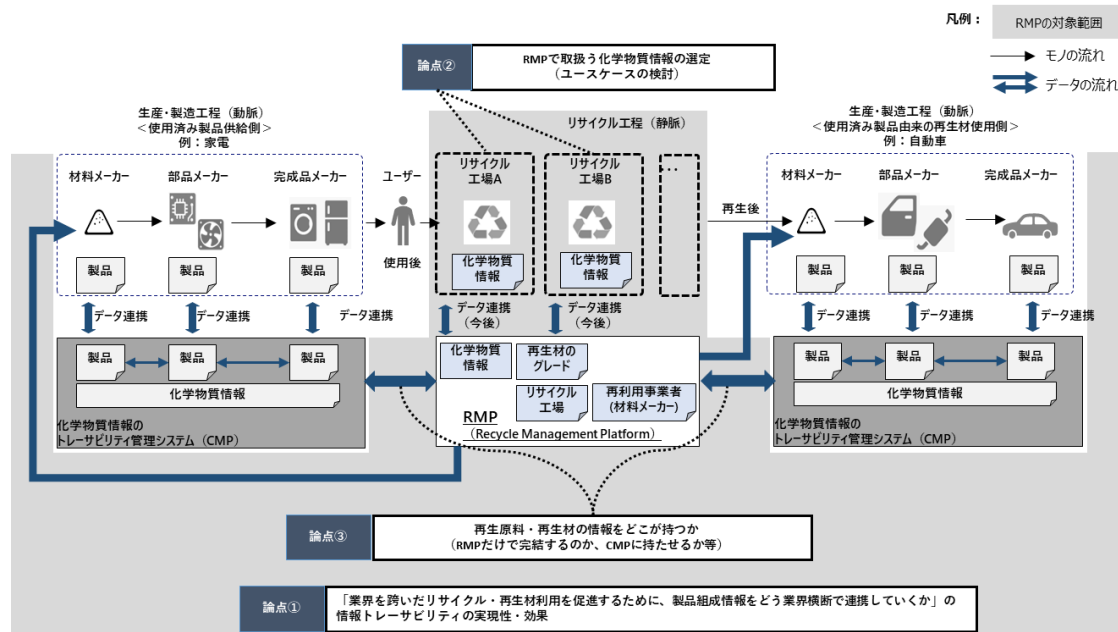
関係者との議論を踏まえて、再生材の品質の担保、データ提供者側の事業性、利用者側のメリット、ステークホルダー間での負担分散の在り方などを考慮したモデル仮説を構築し、静脈系における化学物質情報などのデータ連携（RMP）を社会実装可能な技術として確立する。

事業イメージ

調査・研究の進め方



データ連携システムの構築における論点（仮説）



データスペースの構築及び普及・拡大に係る調査及びプロジェクトマネジメントオフィス業務

デロイト トーマツ コンサルティング合同会社

事業概要

- ・ウラノス・エコシステムに資するデータスペース基盤整備・普及促進事業、蓄電池トレーサビリティ分野のCFP情報の流通促進のための高度化事業、化学物質情報の流通に係るシステム開発事業を対象に、デジタルライフライン全国総合整備計画など、関連する他の国内外事業と緊密に連携を図りながら、広い視点に基づくプロジェクトマネジメントオフィス業務を実施する。
- ・データスペースの市場規模調査およびインパクトモデリング・シナリオ分析、ならびにトラストの在り方に関する調査・検討を実施することで、日本のあるべきデータスペースの実現に向けた総合的な取り組みを推進する。

事業イメージ

		2025年						2026年										
		5~6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月							
D-1 データスペース市場規模調査及びインパクトモデリング・シナリオ分析											◆ 中間報告会	◆ 最終報告会						
D-1-1	市場規模調査・シナリオ分析に向けたモデル構築	契約 開始 手続 き ・	モデル 調整					貴機構の要望に合わせて 適宜アップデート										
D-1-2	データスペースの市場規模算定		TAM/SAM試算 (グローバル・国内)	パッファ														
D-1-3	インパクトモデリング・シナリオ分析		シナリオ分析	パッファ														
D-2 トラストの在り方に関する調査・検討											◆ 中間報告会	◆ 中間報告会	◆ 最終報告会					
D-2-1	ユースケースのデータ連携基盤規約定義	同 上	ガバナンスモデル調査	UCの 留意点			データ連携 基盤規約											
D-2-2	ユースケースのデータ連携に関するトラストモデル定義		トラストモデル調査		UCのトラ スト要件			ユースケースの トラストモデル定義										
調査項目③：ロードマップに基づく各プロジェクトの詳細実施項目の検討											◆ 進捗確認会	◆ 進捗確認会	◆ 進捗確認会	◆ 進捗確認会	◆ 進捗確認会	◆ 進捗確認会	◆ 進捗確認会	◆ 進捗確認会
D-3-1	各事業項目の進捗管理（事業項目A・B・C）	同 上	PMO業務（A・B・C各事業項目）							頻度や方法は貴機構 とも相談の上で決定								
D-3-2	ウラノス・エコシステム高度化に資する開発内容の検討							在り方に関する提言・提案	パッファ									